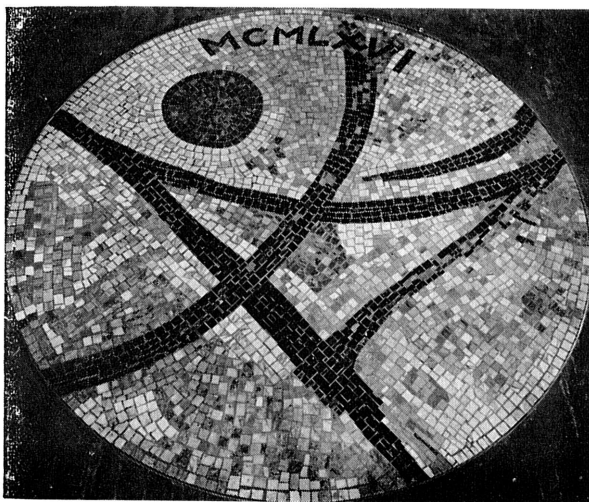


# 白城会通信

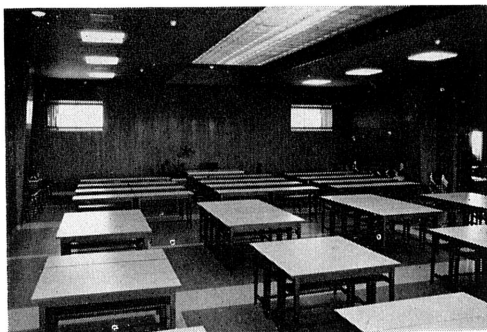
## 白城会館完成記念号



### 目次

白城会館内部	2
白城会館建設状況	3
図書館・食堂	4
白城会館竣工を祝して	5
入会の御挨拶	5・6
白城会館完成にあたって	6
白城会館の利用の仕方	7
白城会館の大理石について	8
離任の挨拶	9
新入紹介	10
躍進を続ける進学の成果 〔座談会〕	11
母校戦中戦後の歩み(その二)	13
歌碑「鷲山に秋の」	21
白城会名簿訂正(追加分)	22
白城会総会のお知らせ	36

— 白城会館内部 —



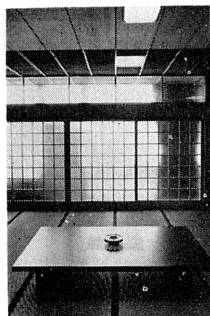
集 会 室



ロビーのモザイクとシャンデリヤ



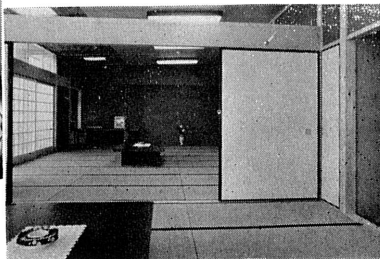
洋 室



和 室

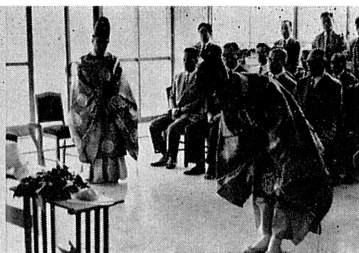
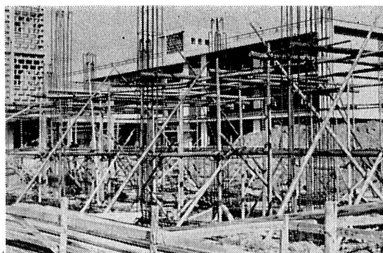


洋 室

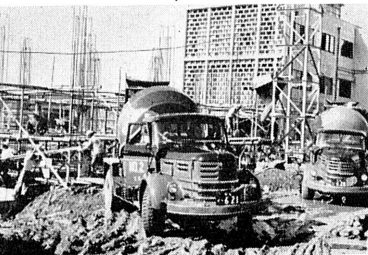
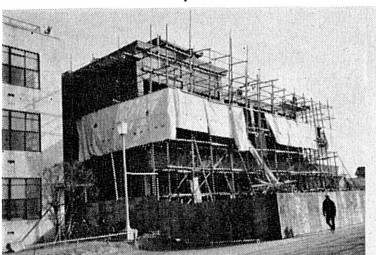
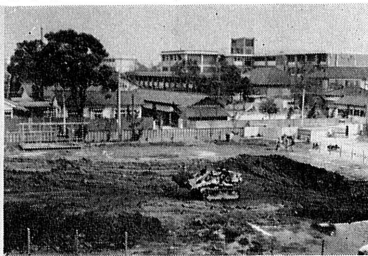
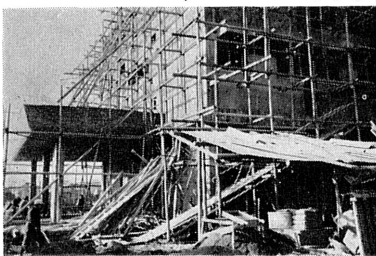


和 室

白城会館建設状況



1965.9.15



1966.5.11

図書館(二階)  
食堂(一階)

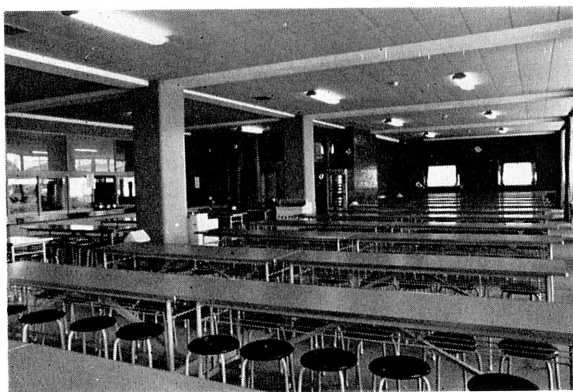
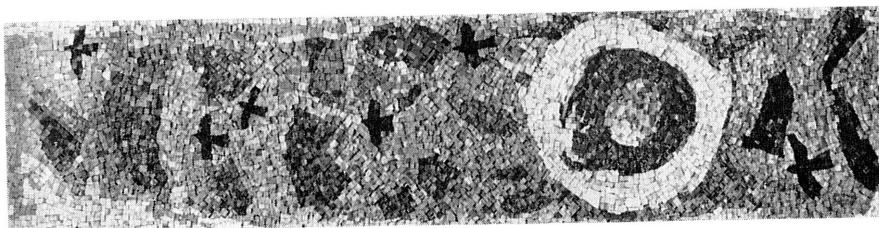


↑ 閲覧室全景

新聞雑誌閲覧室→



↓ 壁画「光かがよう」



食堂

# 白城会館竣工を祝して

理事長 空地純一



新緑滴る爽かな  
季節となりまし  
た。校友諸君には  
相愛らずお元気で活躍のこととお喜び申上  
げます。

さて、長い間の夢でありましたわが白城会館もようやく最後の仕上げを終り、不日竣工式がとり行われることになりました。誠に同慶の至りにたえません。最初計画された白城会講堂断念の経緯につきましては前号の通信で詳しくご報告申上げましたが、その後、より一層利用価値のある会館建設にふみ切りまして以来、皆様には実に熱心にご協力下され続々と浄財をお寄せ頂き、一応の確信を得ましたので昨年九月に着工致しました。この間、校長の泉当局との度々のご折衝、諸先生

けれども校内理事先生方、同窓会各期毎の幹事、世話人諸君、その上更に設計者、工事請負業者、さては室内装備関係の方々が殆どわが白城会同窓であったということから自然こ

れ等の皆さんが互に力強く手を握り合つての献身的な努力によりかくも立派に実を結んだものと存じ、責任者の一人として心から感謝致しますと共に皆さんの限りなき母校愛精神の発揚に対し衷心敬意を表する次第であります。尚この機会に泉当局のご理解と育友会並びに城北高校当局の方々のご好意に對してまた厚く御礼を申上げます。

会館の内容外観共に最初の予想よりはるかに壮麗なものになりました。同窓会諸君は勿論、学校におかれても、また地方教育機関におかれても必ずや快くご利用頂けること信じます。ここに白城会通信第三号発行に当り重ねて会館竣工のお喜びを申上げます。

なお、竣工に至るまでの経過の概要、収支決算、今後の会館利用に関する内規等の詳細は担当理事より項を改めてご報告申上げます。

× × ×

# 入会の御挨拶

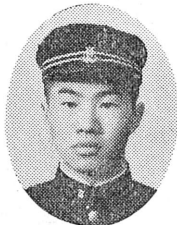
18回卒 高浜龍彦

三年間の高校生活もまたたく間に過ぎ去りもう卒業を迎え、これからは母校の同窓の一人として白城会に入会させて頂くことになりました。三年の間には、楽しい事、苦しい事等色々な出来事がありました。その間に我々が得たものは――

真理探求の道をもつて教えられた良き師、互にうちとけ合い人格の形成に影響を及ぼし合った良き友、今また加うるに良き先輩と。我々は果報者だった、と思います。

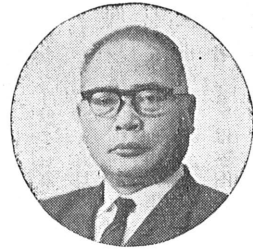
人生七十年の今日、三年の月日は短いものであると言えましょう。しかしこの三年こそ我々の人生に於て最も充実した時期の一つになるものと思えます。

我々四八九名、各々自ら志す道を歩もうと今第一歩を踏み出した訳ですが、何分にも浅学、未熟な者ですので、時として困難に挫ける事もあろうかと思えます、その様な際にはどうか温い御教示を賜ります様お願い致します。最後に、この白城会が温い母校愛の絆として益々発展する様祈って筆を置かせて頂きます。



# 白城会館完成にあたって

学校長 井内喜久次



この度同窓会各位の団結の象徴である白城会館が

竣工いたしましたことは何よりも慶ばしいこととであります。

一昨年兵庫県関係ご当局の格別のご配慮により本校図書館建設の予算が計上されることになりました機会に、同窓会の負担で白城会館を、本校育友会城北高校育友会の負担で生徒集会所を建設してやろうという誠に有難い決議がなされ、関係者の協議の結果、南館の東側に一階が生徒集会所、二階が図書館、三階が白城会館で、各階約一五〇坪の鉄筋コンクリートの建物を造築することに決定されたのであります。工事の実施については、兵庫県宮繕課足立英雄技師（姫中五四回）が主任として設計監督を担当され、昨年九月以来、主体工程をK K北村工務店、附帯工事を播州電機K K、姫路設備K Kが請負って、ここにその完成を見るにいたしました。設計監督者

の卓越した技術、斬新なデザインによる設計と厳密な監督と請負業者の良心的にして積極的な施工に依りまして、外観、内容ともに立派な堂々たる建物が出来上りました。この建物の完成に依り本校の教育施設は飛躍的に増強されたのであります。本校にとってこの上なく嬉しいこととあります。この会館建設資金はすべて会員からのご寄附でありました。

その募金には役員の方々の絶大なご努力は勿論、会員各位の物心両面のなみなみならぬご協力を賜りましたことを深く感銘して居ります。又この建築工事の計画に当りまして、時節困難なこと多かったのですが、白城会理事長空地純一先生、前育友会長宗行源治先生、兵庫県出納長吉田豊信氏（姫中四〇回）の一方ならぬご尽力によりまして順調に推進していただきましたことに対し衷心から感謝いたします。

この貴重な施設を完成いただいた関係各位の御芳情に添えて、更に教育内容の充実を努力してご期待に副う覚悟を新にして居ります。ご支援ご鞭撻下さるようお願い上げます。

# 入会の御挨拶

18回卒 松山陽子

昭和四十一年二月二十五日より、私達はこの誇り高い白城会々員として名を連ねることになりました。長い歴史の中で築き上げられたこの名声を汚すことのない会員となるよう努めようと思っています。

ただ、私たちは、白城会という、すぐ姫中の卒業生の会という感じをすぐ持つてしまうのは残念です。白城会が将来へ発展してゆかためには、姫中の卒業生だけではなく、私たち西高卒業生、そして今後の西高生が姫中卒業生と一体となって白城会の発展に努力しなければならぬと思います。

姫中卒業の方々が社会において重きをなしておられることは私たちもよく知っています。しかし、私は、たんにそれらの方々の後輩だ、同窓だということだけで、自分を誇らうとは思いません。私たちがそのよき伝統を受けつぎ、さらに発展させてゆくのに微力でも尽し得た時にこそ、白城会の会員西高の卒業生として誇り得ることだと思っています。



私たちがそのよき伝統を受けつぎ、さらに発展させてゆくのに微力でも尽し得た時にこそ、白城会の会員西高の卒業生として誇り得ることだと思っています。

# 白城会館の利用の仕方

長年の同窓の努力が実って白城会館が見事に完成して皆様の利用をお待ちしています。

## ○施設の大要

1 集会室 一五六名分のテーブルと椅子があります。映写可能。学年単位の大集会に利用して下さい。立食式なら二〇〇名迄です。

2、和室 四二畳敷で二室に分かれています。六〇名迄の会合に利用出来ます。ガス設備、食卓もありますからすき焼も出来ます。宿泊は一〇人迄。

3、洋室 豪華なセットがあり三十六人迄。休息、談話等に御利用下さい。

4、湯沸室 お茶の準備、酒の燗等に使用。

5、リフト 一階の食堂からの料理の運搬。男女用手洗。

## ○利用の申込法

同窓会員はまず電話で白城会係に使用したいと思う日の利用が可能かどうか確めた上で予約し、一週間前までに学校で所定の使用申込書に、日時、場所、目的、人数、特

別使用物件、責任者名を記入捺印の上、白城会係にお出し下さいれば許可証をお送りします。当日は使用の前後に当直者に許可証を示して指示を受けて下さい。料理、酒等の用意は学校食堂の利用が出来ますから、ご希望の時は前もって、係にご相談下さい。

なお会館維持費として一人五〇円、宿泊の場合は三〇〇円ご寄附願いますが、料理代と共に会の終了後直ちにお支払い下さい。

なお営利を目的とした会合、特定の政治宗教運動、学校の教育活動や会館の維持運営に支障ありと認められる会合には使用出来ません。また校内でありますので土曜日以外の授業のある日のお酒を伴う会合や、芸妓、酌婦の連込みは御遠慮願います。酒の燗、後始末などは当方で致します。

## 白城会館建設決算報告

七、二四

(寄附明細は別紙折込)

収入		支出	
募金額計	一七、三〇八、八〇一	募金費	七九六、〇六四
利子	二、九八〇、九七七	工事費	一七、一三九、〇〇〇
特別寄附	一、〇〇〇、〇〇〇	家具費	一、六七四、一四一
計	二一、二八九、七七八	寝具費	二二〇、一四〇
		台所用品費	一一三、二三五
		その他備品	二一一、七五〇
		式典費	三五〇、〇〇〇
		報告費	一五〇、〇〇〇
計	二〇、六五四、三三〇		
差引			
収入	二一、二八九、七七八		
支出	二〇、六五四、三三〇		
	六三五、四四八		

但し残額中三〇万は名簿出版費に借用、応援歌歌碑予算を三〇〇、〇〇〇円組んで居ります。

# 白城会館の大理石モザイクについて

姫中 36回卒 尾田 龍

白城会館に大理石モザイクをつくるようにとの依頼をうけて、応接間の壁とロビーの床二階の西高校図書館の壁と三箇所に、三種類のモザイクをつくりました。わが国でモザイクがつくれるほど豊富な種類の石材を持っていく工場といえば、岐阜県の矢橋大理石商店だけで、今度はここへ原画をわたして作成、同社の矢橋六郎専務と二人で最後に綿密な手直しをして完成しました。したがって原画は

私で、製作は矢橋六郎氏です。矢橋氏はこの会社の専務であるとともに日本の重要な画家の一人でもあり、モザイクについてはもちろん第一人者で長い間東京芸大でモザイクの講座を担当しておられます。日本にある大理石モザイクで矢橋さんが関係していないものはひとつもありません。大理石のモザイクは東京にはかなりありますが、大阪では五面だけ大阪以西の山陽方面では白城会館がはじめてだそうです。大理石モザイクは一つ一つの石の美しさに魅力があります。もちろん着色してない天然の石ばかりですから、純度の高い

色彩の美しさはとうてい絵具の比ではありません。この壁画には日本産のほか、イタリーフランス、ギリシャ、スエーデンなどのヨーロッパ諸国、トルコ、中共、アフリカ、南米など世界中の名石が使っておりますが、私はこれをつくっているうちにすっかり石がすきになってしまいました。今度機会があったら原画だけでなく最後の製作までぜひ自分の手でやってみたいと思っております。

白城会館応接間の壁画 (3m20×1m60) は「層々」という題をつけました。会の名前にちなんで城を抽象化し、城の層の表現に、年々新しく卒業生が加わり、つきつぎと層をなしてこの会が発展してゆくという意味を托しました。

ロビーの床は「不死鳥」(直径1m80)です。フェニックスは太陽と結びつけて考えられている瑞鳥で、これも白城会がいかなる世の変遷にもたえて永久に続いてゆくようにという願いです。MCMXLXVIという文字はローマ数字で、M(1000) CM(900) LX(60) VI(6)と建設の年号をあらわしたわけ

です。アラビア数字よりデザイン的に面白いのと、また話題にもなるうかことさら縁遠い数字にしました。この数字のおこりについては平凡社百科辞典によりますと、もとは1000を①、100を②であらわしていたのが簡略化され、ラテン語のmile(1000)の頭文字のM、centum(100)の頭文字のCとがそれぞれ結びついてこの記号にかわり、Lは①の上半分が変化したもので50、Xは一を十個たばねた形が変ったもので10、VはXの上半分で5、という説がある。また二つ数字をならべたとき、左が小さい数である場合は引算をする云々、とかいてあります。右のような解説は不要と思いましたが、竣工式の時にもさかんに質問がありましたので蛇足ながらつけ加えます。

二階の図書館の「光かゞよう」(4m50×1m10)は西高校歌の冒頭にある文句で、あかるく希望にみちた生徒諸君にささげる讃歌です。力強くはばたいて飛んでゆく鳥は、めいめい自分の姿だと思っていただいて良いと考えています。

なおこのような大理石モザイクを製作する機会を与えて下さった関係の方々に深く感謝いたします。石の美しさがわかったことだけでもたいしたことでした。

(筆者は画家・国画会々員・西高講師)



この度、西高から次の先生方が御転退職になりました。御在職中の先生方の御尽力に感謝し、今度の御発展、御健康を心よりお祈り致します。なお堀江高明事務官は、県立南高校に転任されました。

## 福永利一

樹々の若葉が美しい季節となりました。会員の皆様には、ますます御壮健で、御活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、私事この度、一身上の都合に依り、公立学校教諭の職を退きました。顧みますと昭和三年四月に始めて教壇に立ってより、ちょうど三十八年になります。その内二十四年間を本校にお世話になったこととなります。

大東亜戦争や、学制改革等、激動期に当りましたが、大過なく、しかも楽しく生活することができましたことは、会員の皆様の御指導と御協力の賜物と、ありがたく感謝いたしております。

今後は私学白陵高等学校において、微力ながら、生徒指導に尽力する覚悟であります。どうか、相変りませず御援助を賜りますようお願い申し上げます。終りに、白城会の御発展と、会員諸兄の御健康をお祈り致します。

## 辻本花子

昭和二十五年一家庭人として、育児に専念していた私が、思ってもよらず西高に勤めさせて頂いて十六年になりました。

この度、都合で退職させて頂きましたが、この十六年の長い間、そして私の最後の勤務を無事にすごさせて頂いていただきましたことは、陰ながら御援助いただきました皆々様方の御協力と深く喜んで居ります。

最近全国で「体力づくり」の運動が広く展開されて居りますが誠に有意義なことと存じます。国民一人一人が健康な体を作り、社会に貢献する必要を痛感いたします。退職致しました今、これからの私の人生を何等かの方法で社会体育に尽して行きたいと思っております。

一応退職いたしました。週二日学校に出、若い方々と共に勉強いたしております。白城会館も立派に出来上りました。会の今後の御発展御繁栄を祈りつつ御挨拶にかえさせて頂きます。

## 山田 暎

西校へ出なくなりましてから、はや一と月半。まだ先生気分から抜け切れず「授業屋」

と、お手伝いさん”の間を低迷しているこの頃です。

この一年間、私の生活のほとんどは、西高の生活が占めておりました。帰宅してから為すことと言えば教材研究や採点ですし、友人と会って話すことも、休日にはぼんやり思うのも西高のことでした。今でも何かにつけ「西高」という言葉が口の端に出てきて、その位置の占める大きさを痛感しています。新入生の歓迎遠足、体育祭、文化祭、修学旅行等々なつかしく思い出すことは子供の言うようなことばかりで恥ずかしいのですが、私は私なりに楽しゅうございました。純真な生徒達の心に触れることが何より嬉しゅうございました。「先生をして良かった」という実感を生徒との心の触れ合いを通じて度々味わいました。このお互いの心の中に生まれた、暖かいものを、いつまでも持ち続けていきたいと思っております。

学生々活を終えて初めて教壇に立った学校が、西高という大変な学校でしたので、今、あらためて重い肩の荷をおろして、一と息ついております。

## △新任紹介△

今春、新たにお迎えした新任四先生を簡単に紹介申し上げます。

井上正昭先生（数学担当）

姫路南高校より。

卒。

春名文子先生（保健体育担当）

佐用高校より。

大学体育学科卒

宅美泰子先生（国語講師）

大学国文学科新卒。

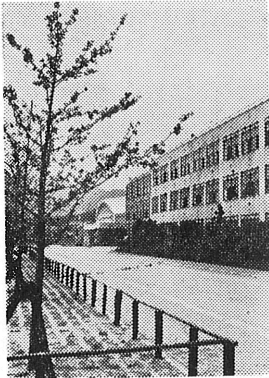
浜田好郎主事（事務職員）

飾磨工業高校より。

## 西高にはいつて

一年 宮下 啓一

「案外やっているな」私は入学して、最初こう思いました。クラブ活動のことです。放課後になれば、グラウンドは白いトレジャツ、



整美された校舎前道路

トレパンでいっぱいです。中には、六時過ぎまでも練習しているクラブがあります。練習量も決して少なくありません。確かに私の想像していたよりも運動は活発でした。

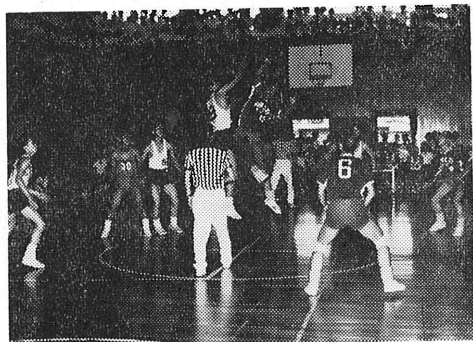
ところが三ヶ月たった今思うことは、多くの部が、練習がへただということです。時間ばかり多くかけて、内容がそれほどでないということです。西高においては、勉強をしなければなりません。できるだけ多くの勉強をすることが必要だと思います。それには、クラブ活動も、できるだけ能率よくすることが必要です。またできると思います。

私は多くの西高生が運動に親しんでいることを嬉しく思っています。そして、ますます盛んになることを望んでいます。ただクラブ活動に、もっとピリツとした厳しさが必要なのではないでしょうか。

## △東西対抗△

西高は、昨年より東高との親善を深め、お互いの技術の向上を高めるために、対抗試合をやっております。成績は御覧の通り大方の予想を裏切って西高が二連勝を収めております。

		〔四一年度〕										
		バスケット	バレー	テニス	卓球	サッカー	剣道	柔道	勝	敗		
		(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	西高
5	7	4	0	3	3	2	1	2	2	3	0	東高
6	30	2	1	4	6	3	4	0	0	25	48	西高
		(1分)										勝西高の
		○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	敗



熱戦！ 東西対抗風景

# 躍進を続ける進学の結果

五五回卒 北沢芳信

明治十一年（一八七八年）創立以来、姫中精神を受けついで姫路西高校は、今年も三月四八九名の卒業生を、白城会の新会員に加え、毎に名実共に、発展しつつありますことは、会員の一人として慶び、これに過ぎるものではありません。本年（昭和四十一年）卒業生は、昭和二十三年七月姫路西高校として開校以来、十八回目の卒業生でありまして、「終戦っ子」のベビーブーム第一波として、又高校新教科課程による大学入試の最初の年という、悪条社ではありながら、質実剛健の伝統ある精神を引継いで、燦然たる成績を収めましたことは、進学指導の係をした者として、誠に嬉しく思います。これも卒業生各自が、母校在校時に、不断の努力を重ねた結果であることは、申すまでもありませんが、母校奉職の諸先生方の献身的なお骨折りのためでもあります。進学希望者四三三名、並びに、以前の卒業生、合わせて、本年度合格者数は、国立大学一九四名、公立大学一一六名、私立大学二二名、合計五二二名がそれぞれ念願叶って、希望大学に合格するという輝しい成果を収めました。

更に進学状況を具体的に記しますと、別表の通りです。

下記の表をみますと、本年度の特徴は、東京大学八名、一橋大学五名が目立ちます。京都大学は、昨年より減少していますが、全国第十二位で、依然として上位を保っています。大阪大学、神戸大学も合格者数は延びています。慶応大学、早稲田大学、関西学院大学も相当数合

大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数
大 大	18(1)	大 大	3(1)	大 大	3
京 大	3(1)	京 大	3(1)	京 大	54
東 大	35(1)	東 大	10(2)	東 大	3
東 大	12	東 大	2(1)	東 大	1
東 大	2	東 大	2	東 大	18(1)
東 大	2	東 大	8	東 大	5(2)
東 大	1(1)	東 大	2	東 大	14(1)
東 大	32(6)	東 大	2	東 大	2
東 大	13(1)	東 大	1	東 大	5
東 大	60(2)	東 大	2	東 大	15(1)
東 大	4	東 大	2	東 大	2
東 大	17(2)	東 大	1(1)	東 大	8(2)
東 大	1	東 大	4(1)	東 大	63(16)
東 大	1	東 大	4	東 大	5
東 大	2	東 大	1	東 大	5
東 大	3	東 大	5	東 大	3
東 大	1	東 大	3	東 大	2
東 大	2(1)	東 大	1	東 大	2
東 大	1	東 大	9(2)	東 大	57(4)
東 大	1	東 大	9		
東 大	1	東 大	16		

( ) 内は17回生以前の卒業生合格者数

格者が出ました。  
城北の地に、一際威容を誇る白亜の殿堂並びに、真南に白鷺城を眺望できる白城会館、その立派な建築物にふさわしく、西高校の内容が充実しますよう頑張らなければならぬと痛感しております。  
表をご覧になっておわかりのように、本年度卒業生も、全国に進出してあります。  
受験に際しましては、北は東北大学から、南は九州、四国の大学にいたるまで、先輩が、或は雨の中を、或は寒風の中を、親身になって

受験生のため、宿舎幹旋から受験についての細い注意、更に、合格後は、下宿の世話まで、何くれと援助を与えておられるのを見聞するにつけ、感謝の気持ち一杯になります。これも姫路中学時代から受け継がれ、西高校の中に生きている伝統精神のあらわれに外ありません。

又、早速入学者の住所氏名の連絡を依頼されました支部もありまして、如何に支部の発展のために尽くされておられるかを思いますと、ただ感激するばかりです。このように先輩後輩のきずなはよいよ強く支部の結成次々で行われ、又、発展しつつある時、皆様のご期待にそぐべく一そう覚悟を新にする次第です。

白城会が今後ますます繁栄しますよう祈りつつ報告を終わります。

## 大西正一理事死去

姫中四〇回生で昭和二十一年から三十七年まで母校で国語を担当し、白城会校内理事として同窓会の再建に、また校舎改築資金の募金に当られた大西正一氏は、赤穂高校長在職中、昨年九月二十六日殉職された。先生に白城会館をお見せ出来ぬことは誠に残念である。謹んでご冥福を祈る。

高浜武次(21回) 百武毅(57回) 両幹事死去。

白城会館建設に絶大な努力を賜った両氏は四十一年三月四日及び四十年十一月二十六日死去された。

## 佐々木副理事長御離任

本部副理事長佐々木米行氏(姫中三二回)はこの度京都にご転居されましたので五月末をもって副理事長を離任されました。

氏は昭和十年頃より白城会理事として、また戦後はずっと副理事長として理事長を補佐しましたは代行して白城会の円満な運営に非常な貢献をされました。殊に白城会館の建設に当りましては建築委員とし、度々の会合にも必ず出席してご指導を賜りましたことを厚く会員諸氏と共に感謝致します。

氏は家業のかたわら、池大雅の作品の蒐集と研究に数十年を傾倒されて、京都の西芳寺(苔寺)の近くに「池大雅美術館」を創立して、その経営にあたってこられました。その美術館を財団法人にして、今後はこの経営と研究著述に専心されることとす。

白城会としては氏が理事を去られることは非常な損失であります。が、事情やむをえなかったのであります。

京都を訪れる同窓は是非、同美術館を見学して、親しく氏の温容に接し、氏の生涯をかけられたご研究を伺っていただきたいと存じます。

氏の今後のご多幸を祈り、今までに変わらず白城会をご指導を賜わるようお願いして、氏の御離任の報告といたします。

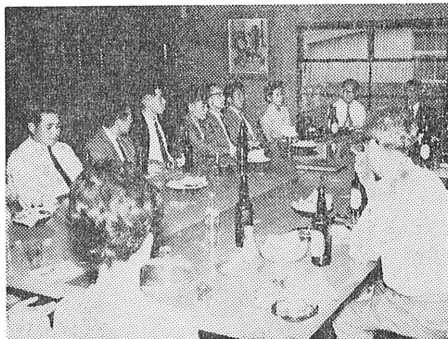
# 特集 座談会 母校戦中戦後の歩み (その二)

〈出席者〉司会者 石坂豊明 (本校教諭・48回卒)

旧師 尾田 龍先生 (校外理事・美術担任・36回卒) 福永 利一先生 (本校教諭・  
数学担任) 長谷川 隆吉先生 (本校教諭・国語担任・40回卒) 名倉 二郎先生  
(本校教諭・生物担任)

卒業生代表 内山 孝一 (姫工大助教授・57回卒) 林 幸雄 (染色業・58回卒)

大塩 俊次郎 (58回生幹事) 吉野 克己 (大鉄管理局・59回卒) 田中 五六  
(日織工業KK・59回卒) 高倉 基泰 (酒類販売業・西1回卒) 柳井 隆 (飾  
磨高校教諭・西2回卒) 石田 勉 (製鉄化学・西2回卒) 阿部 志奈子 (岩井・  
阿部たんす店主婦・西2回卒) 山田 晃子 (坪田・紅屋時計店主婦・西2回卒)



座談会風景 (於西高会議室)

藤本 美智代 (河野・本校事務官・  
西2回卒) 永井 敏 (牛尾工業K  
K人事課長・西3回卒) 山崎 昭子  
(山崎医院医師・西3回卒) 藤戸  
あゆみ (黒田・網干幼稚園教諭・  
西3回卒) 木村 守男 (姫工大講  
師・西4回卒) 中尾 多美子 (井  
上・東小学校教諭・西4回卒)

## 編集部

橘 義康 (本校教諭・58回卒)  
末道 久美子 (本校実習助手・西4  
回卒) 鳩川 晏弘 (本校教諭・西  
9回卒)

## 西高名物フアィアー

### ストーム始まる

長谷川 ファィヤーストームが始まったのは  
三回生が運動会の後整理するという意味で始  
まったように思うのですが、その点、木村君ど  
うですか？

木村 阿部良雄さん(西高三回) なんかの  
時ですね。僕の時もやりました。

長谷川 そうですね。あなた全校委員長を  
やられたから、そういう話もおおい出して  
下さい。

木村 あの時は妙な雰囲気がありました  
ね。実はあの飯野先生がおられたのが昔屋の  
方へかわられ、その後に賀集音市先生が来ら  
れてね。この新しい校長さんというのが皆なじ  
まないですね、それであの時校長さんを一つ  
ドスンと落してやろうなんて言いましたね。  
ところがなかなか校長さん出て来られないの  
ですね、皆雲上人という名をつけていました  
がね、割合不信の念みたいなものを抱いてい  
ましてね。ところがいよいよフアィアースト  
ームになりましたら校長さんが出てこられま  
してね、一緒に手叩いて踊られたんですね、  
皆落してやろうなんて考えているのがそこで

一ぺんに氣勢をそがれて皆なんか親和感みたいなものが湧いたですね。

**長谷川** そうそう、賀集先生もファイアーस्टームで手を叩いたり一緒にやられましたね。飯野先生の時は勿論で、私も三回生の時胴上げされて落されるんじゃないかとひやひやさせられました。あの時から今だにファイアーस्टームの伝統が続いています。他校はこれを大変羨しく思って、西高がやるから私たちの学校の生徒もまねをしたがると苦情を言われるのですが、幸い本校では事故なく、今日まで一つの伝統として続いています。

**永井** あの時運動会、私も場内整理係の責任者で前日遅くまでやったんですが、盛り上りの空気がよかったですか、運動会一応終りまして、別に計画もなにもなかったように思うんですが？

**長谷川** そうです、突然ね。

**永井** 当日ね、先生が運動会を済まされて育友会の人々と一緒に一杯飯まわっていた、そこへ氣勢をかけに行った。その時に一部に先生を吊し上げるんだという者もありましたね、それで行った時に阿部君が校舎の下に立ってパッとそれを抑えたですわ。その時に柴垣先生なんか出て来られて、一緒にやろう

と言って、ざーとまた運動場を走って一ヶ所にかたまつてやったように思います。だから男の者も今のように全員参加じゃなかったと思います。みんなだいぶ帰っていたように思いますね。男がファイアーस्टームやって、女の子たちはそこであの姫申校歌の「呼べよ天下の……」を歌いよつたわけですよ、傍に見に来ていた女の子なんか泣きよつたですわ。

**尾田** 女子はやはり感激して泣きよつたんですよ。羨ましくてしょうがなかったんですよ。

**名倉** その話で、そこにおられる末道さんが男の恰好して出て来られてね（爆笑）四回生から計画的に男子だけでやらせたわけです。女子はすぐ帰るといふ風にして。時には女子も男子の上衣を借りてやったりしていましたね。末道さんが第一人者だったね（笑）

**末道** 私そんなこと存じませんわ（笑）

**尾田** ファイアーस्टームに加わつた唯一の女性だな。

**末道** あら、唯一ではありませんわ。私のクラスだけでも少くとも十人位、沼田さんとか、岩倉さんとか、顔に墨でひげを書いたりしましてね。それで男子と見分けがつかない

つもりだったんですから。（笑）ずいぶん皆元気でした。

## フォークダンスは はずかしうれし

**長谷川** フォークダンスをね、進駐軍がきて運動場でやりましたかね。

**山崎** あれは城南練兵場かどこかへ行つたね、お城の前の下の広場（城内球場）ね。恥ずかしい、恥ずかしい……。

**藤戸** 進駐軍のラモート中佐が来て姫路市内の学校全部が広場で踊りましたね。私は踊つたのは余り印象がないのですが、その時、幼稚園の子がやって来て手を組んで、私らよりよっぽど上手に踊りましたね。

**尾田** その当時でしょう。運動会でやっててれくさかったと言っていたのは。ところがそれからずつとやめていて、それが最近の生徒は「なぜやらせないんだ、やらせろ、やらせろ」ということになって、とうとう去年やつたね。

**橘** それは三年生だけに限定してやらせたんですが、一年生の男の子や女の子が、早う三年生になりたいって。（爆笑）

**名倉** さっき話に出たファイアーस्टーム

を止めたのは七回生の時で、卒業生が後から残念だと言っていましたかね、何故やめたんだったかね？

石坂 とにかく練習の時に、集合かけても統制がとれず、揃わなかったからでしょう。

永井 僕らの時もあらかじめ消防署へ電話しましたよ。

石坂 この頃家が建てこんできて危いので昨年あたり紙をはがして風でたたぬようにしてやっています。

## 校章・校旗の由来

石坂 それでは一つ次の話題に移りたいと思います。はじめて西高が出来まして、校旗とか校章が決まった時のこと誰か覚えていますか？

永井 あれは募集したのじゃなかったですか、募集で出て来たものを中央廊下に貼り出したのを記憶しているのですが。

高倉 柔道の松本厳先生のが採り入れられたというように聞いていますが。

長谷川 あれは参考案までで、決定的なのは尾田先生が手を入れられたのです。

尾田 これは後日になって分らなくなるといけないので、詳しい話を一寸しておきま

す。校章を作ったのは、これは今も話に出ましたように一般募集をして先生も生徒も応募したわけですが、その応募作品を中央廊下へ貼り出しておいた。松本厳先生のもその中であつたわけですが、それからどうも思わしいのがないというわけで、これは職員会が委員会を作ったのかも知れませんが、結局最後は柴垣先生と工作の東村先生と私と三人でつくろうじゃないかということになったんです。

で柴垣先生は例のように椅子に坐っていて、ああでもない、こうでもないと言い、僕とか東村先生が黒板に書きまして、大体松本厳先生の原案にいろいろ手を加えたわけです。松本先生のは「高」の字の下に「西」という字を書いてあつたのです。それをいろいろ手を加え、この「西」の型を驚の恰好にしようというのでだんだんやっていくと、下の方のカーブがどうも変てこだ、あれでは便所でしょうやがんでいる恰好だというような冗談も出ましてね(笑)実際あのカーブは夷にむずかしいカーブなんで、今だにあれを書くとき必ず変な恰好になるのですが、あれもフリーハンドで黒板に書いたのです。そしてやっとあの形が出来上ったわけです。下は驚にも見えるしwestのWにも見える、あるいは西にも見え

るところで今の校章ができたわけですから。その頃東高と密接な関係にあるのでよく相談して「高」という一字だけは止めようではないか」ということで西高はああいうものが下につきし、東高はお城のつもりなので、下に石垣をつけたのです。そういういきさつで校章ができたのです。

校旗は賀集校長の時代にできたのです。これは私に命ぜられます、特に地色は何にしたらよいかということに苦労したのです。一番荘重優雅でしかも金に一番似合う色としてえんじのしゅい色にし、作ったのは神戸大丸です。姫中の校章を作られたのは井上松香(書道の先生)先生で、柴垣先生がだいぶ苦労して探し出されたんです。書道の隸書から来ていて大層落着きのある感じで、しかも単純でもあり、たいへんよかったです。

石坂 **㊦**は広嶺中学が引き継いでいるのですが、あれはどういういきさつですか？

尾田 そのいきさつはあまりよく知らないな。

長谷川 あれは今姫路市の民生局長をしておられる助野さん(三八回卒)が広嶺中の校長をしておられる時に了解を求めに来られました。

尾田 なぜ広嶺中へ行ったかというところ、あの頃は小学学区制で殆んどが西高へ来ていたもので、姫中の伝統を継ぐということで、広嶺中へ行ったのです。

長谷川 その「虫」の記録につきましては、図書室の同窓会誌「姫中五十年誌」に出ていますから、又機会がありましたら見て下さい。

高倉 虫の意味をよく聞きました。今はまがっているが、これから伸びるのだ、いうと。

吉野 広嶺中が使っている校章は全く姫中と同じものですか？

田中 違うでしょう。中の横の端が、姫中のはちょっと上にまがっていました、あれは真直ぐかも知れませんね。

石坂 土曜日に大阪の白城会の総会へ行ったのですが、いろんな歌の中で「友に与う」を歌ったのですが、三回生は知りませんでした。木村君、いつ「友に与う」ができたか覚えていますか？

木村 あの時ね、とにかく校歌がないという話が皆の中でやかましくなりまして、それでとりあえず学生の中から学生歌を作ろうじゃないかという話が出て、自治会で募集を

やりました。その時に二回生の田路次郎さんの作詩で四回生の米田輝美さんが、今生徒手帳にもある「朝な夕なに」の原曲が出来ましてね、それに真下先生が手を加えられ、歌詞に大西先生が手を加えられたということの後で聞きました。それからそれと前後して、柴垣先生が阿部先生の所に行かれて、それで僕なんかの卒業までに間に合いました。よく柴垣先生のところへ行きましたが、今から歌ってやるから聞けとか云われましてね、譜を讀んで聞かせて貰ったのを覚えています。

尾田 あれは柴垣先生が阿部先生にお願いされたのですが、大分長くかかったのです。「命の春のこの三年」が一番先に浮んだのだそうです。そして出来上って、又柴垣先生が

山田耕作先生に作曲をお願いに行かれて、山田先生から「これは国歌にしてもいい歌だ」とか言って誉められたそうです。つまり第三番の「嵐にやぶれ火に焼けし」がその時代の感覚を実にうまく表現していたのです。

尾田 あの歌はなかなかいい歌です。

石坂 大阪の会合の話になりますが、七〇名位来ていて、おみきがまわるにつれて歌が出、「鷺山に秋の」になるともう若いものも年寄りも割れんばかりです。それに「水紺碧

の精をとり」「春曙の花匂い」等大いに歌ったのです。時代が違って来ましたが、我々が共通の歌を歌う時、姫中も西高も一体になるのです。今の生徒手帳に「春あけぼの」や「水紺碧の」がないのは残念です。

### 姫中校歌の由来

尾田 ああ、これも記録に残す必要があるね。姫中の「呼べよ天下の白鷺城」の校歌、柴垣先生がおられれば、これについて一時間それから「友にあたう」について一時間というのは非常に面白く話をされる筈なんです、まあ簡単に受売りをしますと、姫中の校歌をなぜ作ったのかというと、釣さん（常雄、四八回卒）なんかの時代に野球の選抜に出て、その時に校歌がないというわけなんです。急に「鷺山に秋の」の曲を楽譜にとって演奏した、そのことから、校歌を作ろうということになって、まず山田耕作先生に相談に行ったらそれから北原白秋先生に相談に行った。ところが北原白秋さんなかなか頼んでも書いてくれないので、柴垣先生泊り込みで催促されたらしいのですが、山田耕作先生に聞くと、北原白秋先生は怒らせないと歌を作らないというので、だいたい怒らせた。「それでは待つて



いてくれ」と言つて徹夜でこの歌を作つて下さつたらしいのです。柴垣先生だつたらたいへん面白く一時間位は話して下さいるんですがね。

**永井** 私は山田耕作先生がこの講堂へ来られたのを知っていますけどね。その時、柴垣先生が持つておられた、白秋先生が目が見えなくなつてから一氣に書かれたとかいう掛軸を前にしてその時の音楽の小野先生が指揮をされて歌つたのを覚えています。

**永井** 私が中学校へ入りました時、丁度終戦の年だつたと思いますが、松本巖先生が、姫中校歌のレコードを売つて下さいました。五十円やったか、五十銭やったか忘れましたが、まだ持っている筈なんです。

### 後輩に望むこと

**長谷川** 校歌その他いろんな話、今日の座談会でお聞かせ願つてたいへん有益だつたと思います。実は兵庫県の教育目標の一つとして去年も今年も二年引き続いて、校風の樹立刷新ということがあげられています。人間に個性があるように学校にも個性がなければならぬ。終戦後やもすれば、進駐軍の命令であつたにせよ、誤まれる自由、平等があつ

たように思うのですが、今はもう個性をうんと伸長する時代という意味で、校風の樹立刷新ということが広くとり上げられていゝわけです。そこで先程石坂先生も云われた通り、

今の西高の生徒達に皆さんはどういうことをお望みになるか、期待されるか、こういう点を批判と同時に卒直にお聞かせ願うことが、今申しました西高の校風の樹立と刷新という意味からいひましても非常に有難いと思ひます。又同窓会としましても、益々皆さんの後輩が活躍していくことに深いご指導をいただくことになっていきますので、何でもよろしいから、今の西高を見てどう思う、又外部で批評を聞いてどう思うという点についてお教え願ひたいと思ひます。その点で、まず皮切りとして、もっと逞しい人間を作れということとです。何か西高生は勉強ばかりしている、利己主義、冷淡だという風に思われやすいような存在ではないかということ、私も本校に勤めている者として、又先輩として、いろんな点で多少とも気づかひをしていますのでそういう点を卒直に皆さん方からお聞きしたいと思ひます。

**高倉** まず、校則ですね。西高になつたら変つたと思うんですけどね、その当時僕も

八木先生に言われましてね、相当資料を集めに走つた経験あるんですけどもね。元の神戸一中の校則を参考にしているいろいろ検討したと申うんです。

**長谷川** ずっと、服装規定を始めとしていろいろと心掛け、そういう点については現在の生徒まで引き継いで来ております。

**高倉** その時に、文化活動や運動会なんか、春に一回、秋に一回とか、各学期毎に試合をするとか、姫中にこれまでなかったような感じのものを僕はどんどんしたらよいと思ふのです。

**長谷川** 現在も九月に、文化祭・体育祭として実に盛大にやっています。それ以外に運動の面においては、それぞれの時期に、新入生歓迎球技大会とか岸本杯争奪のバレーボール大会とかいろいろやっています。近く東高と優勝旗をかけて東西対抗の親善試合を行なうように計画ができています。

**高倉** それもたしかずつと前にやっていたと思ふんです。

**長谷川** 一時途絶えていたのを再び盛んにしようというわけですね。

**永井** 校訓というんですか。「質実剛健」「自治自重」これを今も唱えているのです

か。

長谷川 今のところ改まった西高の校訓と  
いうものはありません。

石坂 女が入ってきたでしょう。だから

「質実剛健」というだけではいかなくて「清  
純明朗にして知性の香り高き学園」という校  
是になったわけでしょう。学生時代に我々が  
何かというとならぬと質実剛健といって鍛えられたよ  
うなものが果してあるのかな、ということが  
問題なんです。

田中 私らの時は「自治自重」とそれから  
犬養毅さんの「立志」という額がありました  
ね。

尾田 僕らの時代はずっと「質実剛健」で  
したね。

木村 僕の時代は「質実剛健」と飯野先生  
のいわれた「知性の香り高き」というのが、  
ごじやごじやになっていましてね。ちょうど  
あの頃の新聞を全部おいてるんですけど、そ  
れを読むと僕の卒業の頃にはあの飯野先生の  
言葉が浸透していますね。

長谷川 又そんなの見せてほしいですね。

石坂 所が最近その飯野校長時代のが又ば  
やけてしまつて、一体何があるのか、進学だ  
けがあるのか、という所に問題があるような

気がするのですがね。(笑)

長谷川 外部から見られて現在の西高生を  
どのようにご覧になっていきますか言ってみて  
下さい。内山さん近くでござらんになってい  
るのですがどうですか。

内山 やっぱり、パツとしていいように思  
います。

長谷川 女子の方、どうですか、阿部さん  
山田さん。

阿部 直接あまりつきあいがないのでわか  
らないのですが。

尾田 しかし、何か昔の県女とは違った感  
じでしょう。

山田 そうですね、県女は何か共通のもの  
がありますね、先輩の方をみましても。

長谷川 藤戸さんなんか幼稚園におつとめ  
で教育に関係が深いのですか。

藤戸 ええ、ちょうど今、甥と姪が二年生  
にいますのでけれど、中学からの続きですつ  
と試験々々と言っています。それだけが、私  
らはそんなにやったかなと思いません。もう試  
験が済んで十日もせん間にもう試験や試験や  
と言って、ずっとそう言っているから試験オ  
ンリイという感じですね。

長谷川 しかし又、生徒は運動が好きです

ね。

尾田 それは好きですよ、東京の大会など  
に行きますとつるし上げに会うのですよ。何  
しろ古い早稲田とか立教とかの野球部にいた  
連中がいますから、西高はなぜ野球が弱いん  
だとね。

永井 私は野球をやつてまして、他の運動  
部に較べて弱かったんです。予算を取るいっ  
てえらい文句も出ていたんですけれど、いま  
野球の解説をしておられる芥田さん(芥田武  
夫氏、三三回旧姓永室)がちょうど練習して  
いる時に来られまして、「とにかく甲子園ま  
で出て来い。応援する奴はなんぼでもおるん  
だから」と言われたのですが帰られたあと  
で、「甲子園に出るまでに援助してもらいた  
い」と言つてたんです。まあ運動の強い弱い  
というよりも、私、人事関係を担当している  
関係から、西高の学生が余りケチな人間にな  
らぬかと心配するのですけれどね。勉強も勉  
強ですが、勉強した上でやはりお、お、かなと  
いうか、スケールの大きい感じの人間になつ  
て欲しいと思いますね。

石坂 やはり、それはスポーツでなければ  
養えませんね。

永井 必ずしもそうとは限りませんがね。

尾田 もっと反逆児が出てこなくてはいいかと思う。その為には、もっと締めた方がいいかも知れん(笑声)そしたら、もっと反逆してくると思いますよ。

高倉 僕は思うんですけどね、今更中途半端にクラブ活動に力を入れてみても致し方ないじゃないですか。

田中 しかし、私ら中学ですっと運動をやっていたんですけれど、今こうして幹事などさせていただいているので時々学校へ来させていただいてニュースを聞かせていただきますし、また、平素は新聞で見るとですが、よその学校はほとんどんスポーツ面で頑張っている。西高はちっとも出ないじゃないか、と一番早く目につくのが運動関係ですよ。そこで中学時分に田中敏先生がよく言われたのですけれど、「運動と勉強は両立する、しないの問題ではないんだ両立させなければいけない問題だ。従って運動の出来るものは勉強も出なければいかん」と。当時は、神戸一中がサッカーなどよく頑張っていた関係から、姫中もそうならないかんと行って、ハッパをかけたことを覚えていられるんですけど、我々の時代は、大学・専門学校の入学試験が楽だったせいもあるんでしょうが、西播大会な

んか問題にしてなかった。私は当時、陸上競技をやりましたが、県下で二位に入り、角力部は三位、サッカーが二位、機械体操が二位ですか、優勝しましたか、そういう具合で殆どの運動部が県下で名を馳せていたわけなんです。そしてまあ進学もそこそこに入ったというわけです。そういう点から今の西高の生徒にも、試験の方もむずかしくて大変だろうけれど、それと同じように、運動にも文化活動にも力をいれて、よその学校に負けないようにエリートたる面目において頑張つて欲しいですね。

石坂 古い卒業生もそれを言われますね。内心、西高は生徒も忙しいが先生も忙しい(笑声)それで不良化してゆく点も、その点では有難いのではないかと思います。先生が不良化するかどうかは知りませんが(笑声)とにかく、先生も生徒も忙しいですわ。

吉野 私、中学三年の時に部にお世話になりましたが、当時は戦後の混乱期でなにか無意味な毎日のようでした。そこでなにか希望を持ってやらねばということで、田中君らと一緒に運動をやったのですが、周囲の人が勉強しなかったせいか、ある程度勉強と運動が両立したのです。今も田中君が言っていたよ

うに運動の方でもかなりよい成績を得ていました。実際、優秀な部ほど優秀な人材が揃っていましたね。今と当時とは、勉強の量も質も違いますから、一概に言えませんが、まあもう少しスポーツにも力を入れてやって欲しいと思います。それに卒業しましても、一番なつかしいのは、部で過した時の思い出ですね。いつまでも苦楽の思いが残っていて、人間形成上、非常に役立つと思うんですよ。

木村 クラブで今の職業にまでいった人がたくさんありますね。松田君(二郎、音楽家クラシックギター、西四回卒)がそうですね。

尾田 四回の藤岡重慶君もそうだったな。

## 最後に

石坂 非常に勇気づけるようなお話を有難うございました。今、時間も大部予定を過ぎましたので、最後に白城会になにかご希望がございましたら、おっしゃって下さい。

尾田 白城会の運営については、長らく学校と卒業生とのつながりが切れたような恰好になっていたもので、昨年「白城会通信」を復刊し、名簿も新たに今秋出す予定なのです。それから東京支部は石川進吉君(三六回卒)などの骨折りで、かなり前から盛大にや

っておりましたし、京都は一昨年から同志社  
高校長の高橋勘さん（四四回卒）の骨折りで  
支部が出来ました。大阪はこの度、長年途切  
れていたのが再建されましたし、だんだん活  
発になってきているわけです。殊に大阪大会  
は、本部から私と石坂先生とが行って参りま  
したが、姫中八回の老人（八八才）から今年  
の卒業生に至るまで、どの回も同じような人  
数が出席されていて大変心強く思いました。  
そういう支部の活動もありますので、この際  
なに白城会への希望があればおっしゃって  
下さい。

永井 女子の方には気の毒なんです、私  
達姫中の観念が強くて、「おい／＼ くないし  
とるか？」と言ってから、後であいつ東高や  
ったかいな、という調子で、どうも姫中単位  
という観念が強いですね。それがいいか、悪  
いかはわかりませんが、そういう姫中すなわ  
ち西高という場で学んだ者という面を互いに  
もっと強く結んでいったらよいと思います。

尾田 そう、女の方は、ここにおられる方  
にしても、皆西高の卒業生でして、それでよ  
いのではないですか？

阿部 そうですけど、私たちの学年も東西  
に分かれましてね、籍は両方にあるのですけ

れど、同窓会は県女の方の三六回ばかりなん  
です。西高の方の同窓会は全然ないんです。

石坂 誰か強方に世話する方がないと、集  
まる機会が出来ませんね。

尾田 東高を出た姫中の人はいろいろの会  
によく出てきています。東京でも「私姫中に  
いたけれども東高を出ました」と言う人に会  
いました。それはいい事だと思います。皆さ  
ん会員には違いないんですから。

高倉 希望があれば、どしどし入れてあげ  
る事ですね。

石坂 いや、もう入ってるんです。始めか  
ら。

尾田 とにかく最初籍のあった人は皆入っ  
ているのです。

吉野 私ら終戦直後でしたから、四年で任  
意に卒業していいというのがあったのです。

石坂 四年卒と五年卒は一緒にしましょう  
ね。

吉野 ですから、一年生から四年まで一緒  
にいたのが、四年卒でもれていたとか、四年  
で入ってきて、二年間しかいなかった者が入  
っているとか、いろいろあって困るのです。

田中 五九期生でそんなのがありました  
か？

吉野 あるある。卒業やないけれど、やめ  
ているとかっこうがあるな。疎開やな  
んかの都合でさっさと引揚げてしまったのも  
あるし。

高倉 四年で旧制高等学校へ行ったのもや  
やくしくなっているし。

石坂 あれは入っていますよ。

高倉 入ってますか？

尾田 これは今はつきりさせておいた方が  
いいと思いますが、自分の都合で転校したり  
退学した人は入っていないけれど、その人の  
希望によって白城会の会員になれるわけなん  
です。

石坂 上級学校へ行った方は皆名簿に入っ  
ているのですが、中退の方も強い希望があっ  
て、理事会で承認されて、会員になっておら  
れる方も大分あります。そんな希望のある方  
は入っていただいて、仲良くしていただけれ  
ばたいへん幸せだと思います。

それでは次から次へと話は尽きないのです  
が、予定の時間もかなり過ぎましたので、こ  
の辺で打ち切らせていただきます。御出席の  
皆さまには万端なにかとお忙しいなかをご足  
労賜わり、ご熱心に有意義なお話をしてくさ  
いまして、ほんとにありがとうございました。

戦争という忌まわしい過去の事実があり、その後のいろいろな変革を余儀なくされたわけですが、早や戦後二〇年という月日が流れ日本はもとより全世界が新しい局面に向かって歩を進めようとしています。白城会も西高も、そして会員の各位におかれても、健全な歩みを展開されるよう心から祈ってこの座談会を終えることに致します。今日は昭和四〇年六月十二日で、日も長くなって、さきほどまではまだほの明るかったのですが、今七時半、もうすっかり暗くなってしまいました。皆様のご多幸を祈ります。

△おわり▽

消息

古賀千年先生

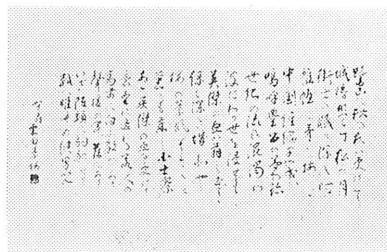
昭和のはじめに姫中で英語、国漢公民等の教鞭をとられた古賀千年先生から白城会宛におたよりがありました。

先生は明治十年生れの高令で元気の御様子、お住いは左記の通りです。

東京都練馬区

古賀千年先生

鷺山に秋の



応援歌歌碑の建設について

姫中、西高校と時は移り、人は入れ替っても在校生がおりにふれ高唱する応援歌「鷺山に秋の夜は更けて……」の歌は、姫中の28回生の頃から約一万余名の卒業生達に親しまれてきて居ります。

この歌は姫中13回卒の栗田肅夫先生が母校で教鞭をとられて居る時、後輩在校生の団結、志気昂揚の目的で作詞され、21回卒の井原虎蔵氏（故人）が作曲されたものであります。幸に作詞の栗田先生は鑿鏢としてご健在でおられ、親しく筆を頂いたものから、

白城会館の建設を機として栗田先生ご健在の中に、この歌碑を先輩諸氏の心の拠り所、後輩諸君の心情の絆として建設することとした。碑石の設計は二科会会員東村正久氏（旧職員）を勞わし、施工は北川石材工芸に託しました。碑文石にはアフリカ産の黒ミカゲを用い、まことにスツキリとした、また質実剛健の氣風を盛ったものであります。本年の八月十四日の総会には除幕式を行いたいと工事を急いでおります。多数の方々のご参列をお願いいたします。（校内理事 西岡記）

白城会文庫目録追加分

回数	著者名	書名
36回	高橋三郎	ヨハネ伝講義 II
33回	原三寿	沿線案内随筆
33回	三谷正	久遠の生命
32回	木村重夫	遠地輝武、現代の素描美
32回	阿部知二	世界文学の流れ 白い塔
30回	中谷健次	美術教育図説
27回	西村俊一	ささなみ 鴉
19回	土方成美	日本経済研究 事件は遠くなりにはけり
14回	駒井卓	京大理学講座第一輯
14回	永田秀次郎	最近の生物学
9回	景福	九十五点主義

22～34ページは個人情報を含むため、都合により削除します。

偶 感

姫中48回 土井克巳

私は学生時代テニスをやっていた関係から軟式庭球部の顧問の一人となっています。西高軟式庭球部は昨年市民大会に一位、二位、西播大会に個人は優勝と三位、団体は二位という輝しい戦績を挙げました。今春の西播大会個人戦には昨年の優勝チームは出場しませんでしたが一チームは優勝戦に進出、殊に後衛は完璧でありましたので忽ち三―一とリードを奪い連続優勝の希望を濃くした時、敵は球を前衛に集中し始め、為に前衛は落着きを失って凡矢を重ね遂に四―三で敗れました。団体戦も準決勝の時昨年の優勝チームは楽勝しましたが後続の二チームは何れも三―〇、三―一の優位から逆転されて敗れました。

試合には運不運もあり、また相手の健闘を贅えるべきであるかも知れません。然し乍ら当日観戦した私共は我校が技術に於て極めて優秀な三チームを擁し、然も絶対的と思われる優位に立ち乍ら、次々と逆転敗けをしたのは我校選手が或はその精神力に於て敵に一籌を輸するのではないかと齊しく感じたのであります。私共は西高生が猛烈に勉強している姿を見て西高が姫中の古い伝統を受け継いでいることを実感します。然し乍ら戦後時代の大きな変貌の中にある一般にどの高校も他と異った特色が余り見られなくなっているように思われる今日、西高に温故知新、古く良き伝統に立って新しい校風の樹立が叫ばれる時、生徒の肉体的精神的鍛練について考えさせられるものがあります。旧姫中は随分きびしい躰けをしていたように思います。今の西高生は実力伯仲の相手に対し弊れて後己むの気概に欠ける恨みがあるのではないかと危惧を覚えました。テニスの試合だけを以て速断するのは危険でありますが平素気付かなかった事をテニスの試合にふと見せられた様な気がいたします。

# 白城会総会を新装の

## 白城会館で!!

今年の総会は新築のデラックスな会館を開  
放して左記の通り行います。

総会の議事や個人の挨拶は出来るだけ短く  
してゆつくり会食歓談する時間をとり、楽団  
演奏や余興なども用意して若い方にも楽しい  
ものにするつもりです。

広い集会室、落着いた洋室、姫路一お城の  
眺めのよい和室、広く静かな図書館、一階の  
清潔な食堂などグループでお集り願える場所  
はいくらでもございます。もちろんビール、  
ジュースやつまみものなどの用意は十分に  
たしているつもりです。先輩はもちろん帰省  
された若い元気な会員はぜひ多教参会されて  
旧師同窓と歓談し、この機会に同窓協力の結  
晶を十二分にご検分願いたいものです。

なお準備の都合もありますから、とじこみ  
の葉書を利用して八月五日までに出席の有無  
のご通知をいただければ幸甚です。

日誌 八月十四日(日)

午後三時—四時 「鷺山に秋の」の

### 歌碑除幕式

午後四時—七時 総会及び懇親会  
場所 姫路西高等学校白城会館三階集会室  
会費 五〇〇円

### 白城会名簿発刊

白城会名簿四十年度版が発行されました。  
創立以来の恩師の在職期間と受持課目表、  
校歌応援歌、写真、新旧両姓よりひける索引  
名前の配列など工夫をこらしました。予約し  
て送金いただいた方には既に発送しましたが  
予算の都合上、まだ一般にお知らせしませんが  
でした。二〇〇〇部ほどまだ在庫しております。  
して資金を圧迫しております。  
名簿が売れましたら、栗田先生の「鷺山に  
秋の」の歌碑を白城会館前に建設致したいと  
思っていますので、夏の総会に除幕式の出来  
ますようご協力下さい。

代価 五〇〇円(送料共)

送金は白城会の振替口座「神戸八二八兵  
庫県立姫路西高等学校白城会」を御利用下さ  
い。尚、神戸地方の方は神戸三宮大丸北の日  
東館書林、大阪地方の方は阿倍野区松崎町天  
王寺予備校内大阪支部でお求め下さっても結  
構です。

その他一括希望があればお送り致します。

### 編集を終えて

やっとできました。白城会通信第三号、お  
届け致します。第二号の橋校内理事から受け  
継いではや数ヶ月、総会の八月十四日が目前  
に来ております。

白城会完成記念号のこと、少しでも新しさ  
をと思い、空地先生のお書きになった前号ま  
での題字をトレーシングペーパーで写して横  
に並べかえたり、尾田先生の作品を写真に撮  
り表紙に拝借したりククシンサントタン……かか  
る結果がアタラシサならぬアサハカサではあ  
るまいかとビクビクしている次第。

この度は、前号にはないアート紙を四頁分  
使ってみました。これは、会員皆様の御尽力  
で完成した白城会館のすばらしさの一端をお  
目につけて、その喜びをわかち合いたいという  
意図からです。

さて、スッターモンダしたあげくにできまし  
たのが御覧の通り、あいも変りませず……と  
いったところ。御批評や、四号、五号に對す  
る御希望をお聞かせいただければ、校内理事  
一同この上ない喜びとするとところでございま  
す。(鳩川記)

No. 3	昭和41年 7月
題字は空地純一氏	
白城会本部 姫路市伊伝居678 姫路西高等学校内	一吉康弘 空地純一 長谷川隆義 橘川晏
理事長 編集人	
印刷所	明輝堂印刷所 姫路市総社本町81 電話 1094・1095